

9年間のデータを蓄積し、先生の細やかな指導実現をサポート

校務支援システム 『eG-School』

システムの特徴

現場で課題と感じられていること

- 学校、教職員ごとに業務がバラバラになっているため標準化したい
- 子供のデータ管理が教職員ごとになっているため蓄積、一元管理したい
- 学校現場の状況を把握し、タイムリーな打ち手が打ちたい

解決策／導入後のサポート内容

- 業務内容、手順を見直すことで学校の業務を標準化
- 学校間、教職員間の基礎データを連携し、管理作業を効率化
- 蓄積されたデータの分析により、子供の生活、学力、保健の特性や傾向をつかみ、課題を予測、把握する

導入に向けたステップ^o

	校務の体系化		校務支援システム導入による 学校情報のDB化		改善施策の 検討
推進事項 詳細	1-1ワーキング グループの結成 教委、各学校から代表者選出し 問題課題の共有と解決の方法 を検討	1-2校務マニュアルの作成 1-1で議論した 内容を集約し、 マニュアルとしてド キュメント化	2-1運用設計 1-2で設定した 校務フローをベースにシステム運 用方法を検討 (情報セキュリティ、権限等)	2-2導入・運用 2-1運用設計に もとづき、現場へ 導入	3-1改善策の 検討 データ分析、課 題抽出に対する 改善策の検討、 策定
想定 タスク	・振興計画策定 支援(整備計画 作成支援など) ・事務局運営支 援 (会議資料作成 など)	・編集 ・HTML化 (WEB)、印刷、 製本	・事務局運営支 援 (会議資料作成 など) ・運用マニュアル 作成	・システム導入 支援 ・初期データ構 築、投入支援 ・研修、ヘルプデ スクの運営支援	・データ収集・ 分析 ・改善施策の 策定

